保証書　持込修理　無料修理規定

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
2.保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
（イ）使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
（ロ）お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
（ニ）消耗または摩耗した部品、付属品の交換
（ホ）本書のご提示がない場合
（ヘ）本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
（但し、販売シールや領収書でも未記入項目の代用となります）
（ト）本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
（チ）一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3.ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4.本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5.本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

商品名　2灯式LEDセンサーライト				★お買い上げ日：　　年　　月　　日
型 番	OSE-LS72	品 番	07-5598	保証期間：本体1年間（お買い上げの日から）
お客様	★お名前（フリガナ）　　様			
	★ご住所 〒　　－ 電話　　（　　）			
修理メモ				
販売店	★住所　店名　電話　　印			

（注）★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

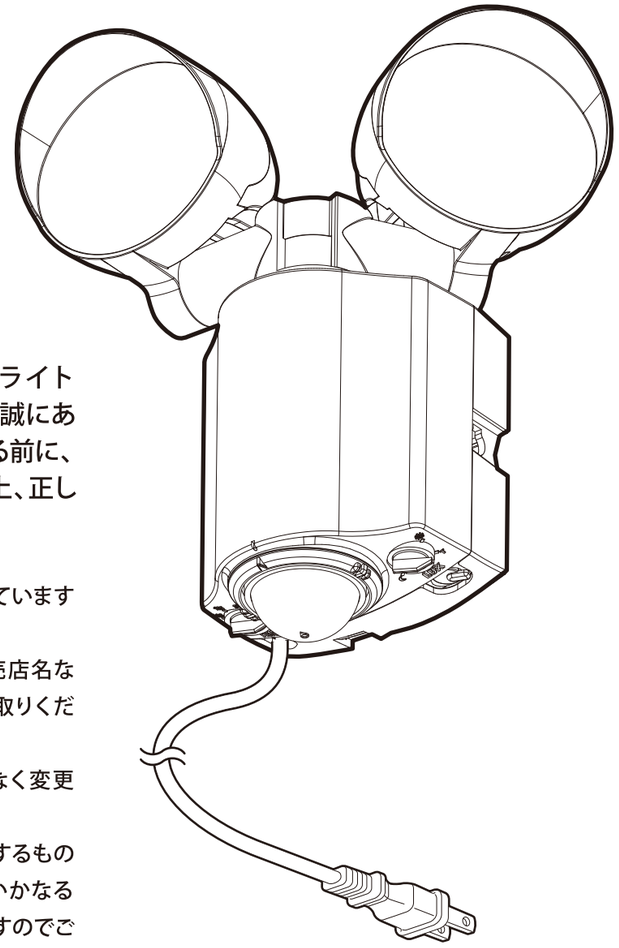
製品に関するお問い合わせは　お客様相談室 へ
●通話料無料　0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは　048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048-992-3970 平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

OHM ELECTRIC INC.　OSE-LS72

2灯式LEDセンサーライト

取扱説明書（保証書付）



この度は、2灯式LEDセンサーライト OSE-LS72をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

■この取扱説明書には保証書が付属していますので大切に保管してください。
保証書は、お買い上げの年月日・販売店名などの記入を必ず確かめてからお受け取りください。
■当製品の仕様外観は改善の為予告なく変更する場合があります。
■当製品は犯罪などを防ぐことを保証するものではありません。当製品設置後の、いかなる被害や損害に対する責も負いかねますのでご了承ください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止する為、必ずお守り頂く事を、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の 表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告 この表示を無視して取り扱いを誤った場合、人が死亡、又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して取り扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性又は物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

この表示は、してはいけない禁止内容を告げるものです。

必ず守る

この表示は、実行しなければならない内容を告げるものです。

⚠ 警告

ぬれ手禁止

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電事故の原因になります。

禁止

●機器の隙間に、金属等の異物を入れないでください。感電・故障の原因になります。特に小さなお子様には十分ご注意ください。
●電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。
又、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりすると、コードが破損し、火災・感電の原因になります。
●交流100Ｖ以外では、ご使用にならないでください。定格をこえると火災・感電の原因になります。
●本品を燃えやすい物や引火しやすい物が保管されている場所の近くには絶対に設置しないでください。また、本品設置付近に、干し物（布団、洗濯物など）を干す場合にはライト部分にかぶさらないようにしてください。火災の原因になります。

分解禁止

●本品を分解、修理又は改造しないでください。火災・感電の原因になります。

電源プラグを抜く

●設置時やお手入れ、点検等の際には必ず電源プラグを抜いてから行ってください。感電事故の原因になります。又、点灯直後は、ライト全体が高温になっています。ヤケドの原因になりますので冷めるまで待って作業をしてください。

⚠ 警告

必ず守る

●電源プラグのほこり等は定期的に取り去ってください。プラグにほこり等がたまると、火災の原因になりますのでプラグを抜き、乾いた布等で掃除してください。
●屋外で使用する場合にはコンセントは防水型をご使用ください。
●電源プラグは確実にコンセントへ差込んでください。確実に差込まれていないと、感電や発熱による火災の原因になります。又、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
●電源プラグを抜く時は、コードを持たずに必ず先端プラグ部分を持って引き抜いてください。電源プラグが破損して、感電やショート・火災等の原因になります。
●異常を感じたら、速やかに電源を切ってください。異常が収まったことを確認し、販売店または弊社のお客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意

必ず守る

●本品は防雨構造です。通常の雨には耐えますが、洗車ノズル等での直接噴射は避けてください。＊防雨構造はIP44企画に適合しています。
●本品は、ライト部分を上側に、センサー部分を下側に設置します。上下逆さに設置します。上下逆さに設置しないでください。点灯時の熱により、故障や火災等の原因になります。
●点灯中、点灯直後は、ライト全体が高温になっています。ヤケドの原因になりますのでさわらないでください。

電源プラグを抜く

●長時間ご使用にならない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による漏電火災の原因になります。

火気禁止

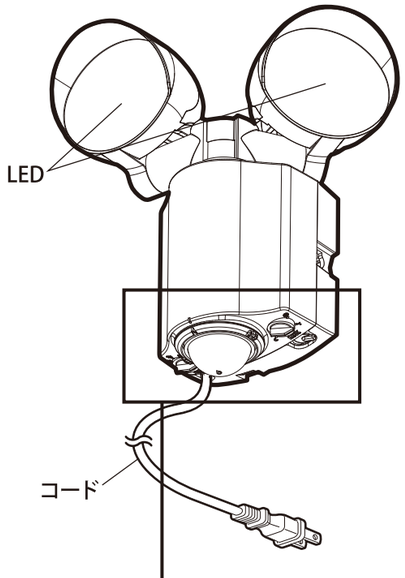
●本品を火の側や高温になる場所で使用しないでください。火災の原因になります。

禁止

●本品をベンジンやシンナーで拭いたり、殺虫剤をかけないでください。引火、感電、ひび割れの恐れがあります。
●不安定な場所に設置しないでください。落下などによるケガや火災の原因になります。設置後、しっかりと固定されているか必ず確かめてください。
●LEDを直視しないでください。目の痛みの原因になることがあります。

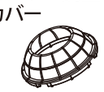
各部の名称

【本体】



【付属品】

センサー調整カバー



カールプラグ（2本）

固定棒

木ネジ（2本）

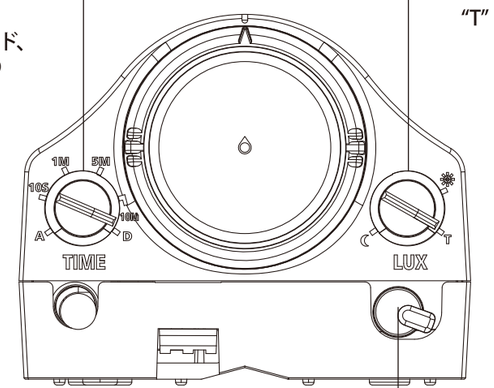
クランプ台

ちょうナット

【本体下部】

点灯時間調整ツマミ
切替えツマミ
ライトの点灯時間を調整します。また、“A”（アラーム）モード、“D”（デイ）モードの切替えを行います。

点灯開始照度調整ツマミ
ライトが点灯を開始する時間帯（周囲の明るさ）を設定します。“T”（テスト）モードに切替できます。



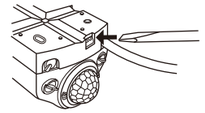
チャイム接続口
（別売オプション）

設置のしかた

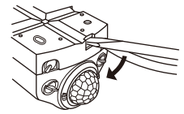
⚠警告 **作業は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。**
また、濡れた手で作業すると感電事故の原因となります。

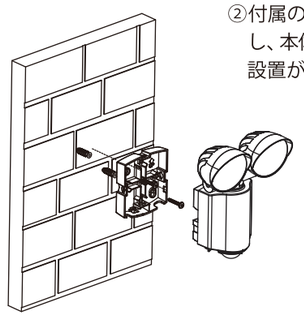
【木ネジを使用した設置のしかた】

①背面のふたを開けます。
①-1 ドライバー等を底面ロック部に差し込みます。



①-2 矢印の方向に力を加えてロックを外してください。



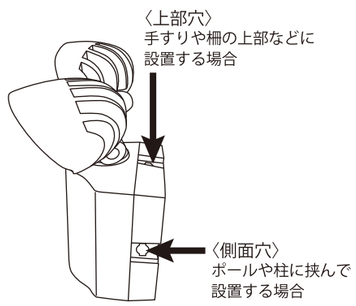


②付属のネジを使用して壁面の設置位置にふたを固定し、本体をはめこみます。
設置が完了したらコンセントを接続してください。

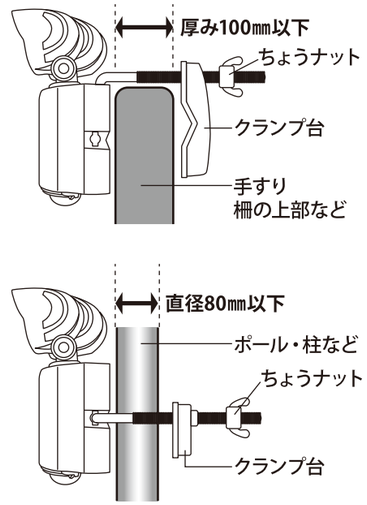
※木ネジで固定できないモルタルや、コンクリート壁などの場合、ドリルで下穴（直径6㎜深さ約30㎜）を開けて付属のカールプラグを打ち込んだ後、木ネジで固定してください。

【クランプを使用した設置のしかた】

①付属の固定棒を、設置する場所に合わせて上部または側面の穴に差し込みます。

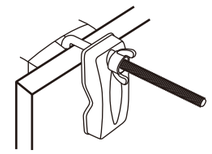


②固定棒にクランプ台を図のように通し、ちょうナットを締めて固定します。

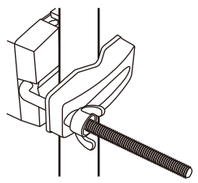


【設置部拡大図】

●手すり・柵の上部など



●ポール・柱など



【設置場所のご注意】下記のような場所、状態に本製品を設置することはできません。

- ●電灯などの明かりが近くにある場所
- ●直射日光が当たる場所や高温、湿気の多い場所
- ●木や細い柱など振動で不安定な場所
- ●ガラスや表面が光るものに直接センサーが向いている場所
- ●本体が地面に対して水平にならない場所

※室外に取り付けた場合、紫外線により多少外観に色の変化が出る場合がございますが、機能上に問題はありません。

ご使用前の準備

本体を正しく設置した後、“T”（テスト）モードにて初期動作の確認をし、センサーの検知エリアの範囲と点灯の向きを調整します。

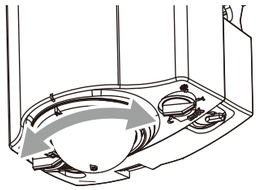
[“T”（テスト）モード]

点灯開始照度調整ツマミ

点灯開始照度調整ツマミを“T”（テスト）に回し、電源プラグをコンセントに差し込みます。ライトが点灯し、約60秒後に消灯します。消灯後、センサーが人を検知すると、周囲の明るさに関係なく再びライトが点灯し、約3秒後に消灯します。
以上が“T”（テスト）モードでの正常な動作になります。センサーが検知せず点灯しない場合は、一度電源プラグを抜き、約2分後に再度電源プラグをコンセントに差し込んで“T”（テスト）モードで初期動作の確認をしてください。

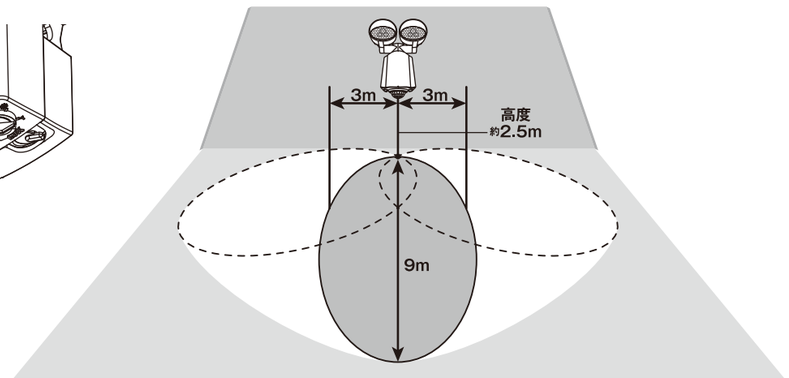
[センサー感知範囲の調整] ※調整は“T”（テスト）モードのまま行ってください。

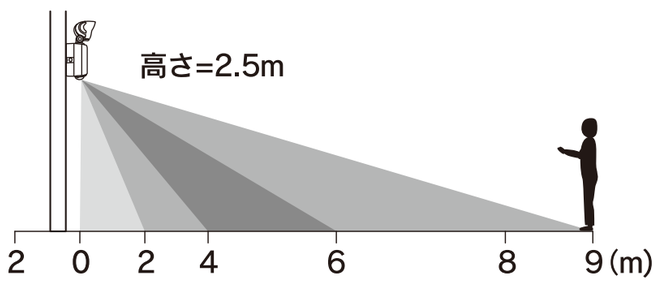
●下図のようにセンサー部分を左右に回すと、センサー検知範囲を調整できます。



人感センサー検知範囲の目安

注意：夏場、周囲の温度と動く人から出る体温との差が少ない場合や、センサーに向かって直進する場合などには、感知が鈍くなり点灯しない場合があります。

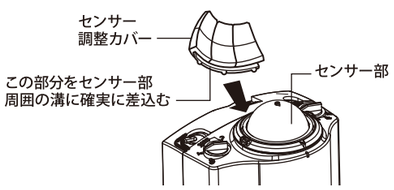




検知範囲を狭くしたい場合

●検知を遮断したい方向にセンサー調整カバーを差し込みます。カバーをした範囲分、検知範囲が縮小されます。

センサー調整カバー
※検知を遮断したい範囲分だけカットして使用します。



ご使用方法（各種モード設定）

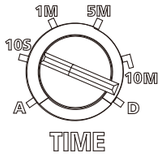
[“通常”モード] 点灯開始照度調整／点灯時間調整

点灯開始照度調整ツマミ

“通常”モードは、人の動きを検知しライトを点灯させます。ライトの点灯時間を10秒、1分、5分、10分に設定できます。また、センサー検知を開始する明るさも設定できます。

① 点灯開始照度調整ツマミを左図 の範囲内で設定します。

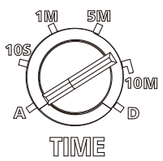
> ☾までいっぱいに回すと夜だけ点灯し、☼に回すと昼夜ともに点灯します。
> 通常は☾に設定します。点灯しない場合は☼側に回してお試しください。



点灯時間調整ツマミ

② 点灯時間調整ツマミで、ライトの点灯時間を設定します。
10S：10秒間点灯　1M：1分間点灯　5M：5分間点灯　10M：10分間点灯

[“A”（アラーム）モード] フラッシュ点灯



点灯時間調整ツマミ

“A”（アラーム）モードは人を検知すると、昼夜関係なくライトが約20秒間フラッシュ点灯（点滅）します。このモードでは点灯開始照度の調整や点灯時間の調整はできません。

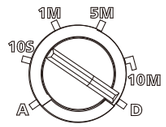
点灯時間調整ツマミを“A”の表示に合わせてください。
※フラッシュ（点滅）は0.5秒間隔です。

点灯開始照度調整ツマミ

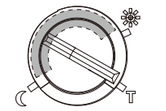
注意：点灯開始調整ツマミは必ず の範囲内に設定してください。
“T”に回さないでください。（テストモードになり、“A”モードができなくなります）

ご使用方法（各種モード設定）

[“D”（デイ）モード] 夜間常時点灯モード



TIME
点灯時間調整ツマミ



LUX
点灯開始照度調整ツマミ

“D”（デイ）モードは、点灯開始照度調整ツマミで設定された照度より暗い間、常時点灯します（人感センサーは働きません）。周囲の明るさが設定した照度以上になると消灯します。

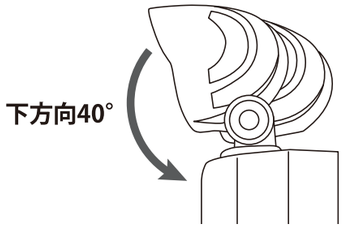
① 点灯時間調整ツマミを“D”に設定します。

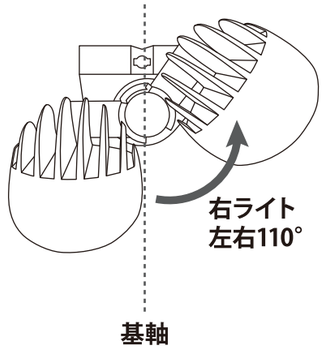
② 点灯開始照度調整ツマミの☼～☾の範囲で点灯開始照度を設定します。

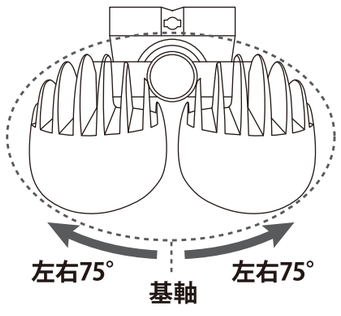
③ 周囲の明るさが設定した照度以下になると、ライトが点灯します。周囲の明るさが設定した照度以上になるとライトが消灯します。（ ☼の位置に設定しないでください。この設定ではライトが消灯しませんのでご注意ください。）

ライトの照射方向の調整

●左右のライト部分は図のように、いろいろな方向に独立して動かすことができます。
ちょうどよい方向に調整してください。
左右のライトの照射方向を替えることにより、照らす部分の死角を少なくします。







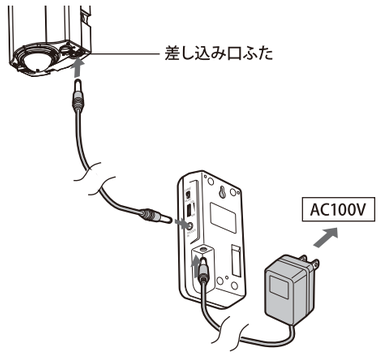
故障かな・・・と思ったら

現　象	考えられる原因	処　置
ライトが点灯しない（センサーが反応しない）	電源が正しく供給されていない。	電源コードの接続およびコンセントの電源供給（ブレーカー）の確認。
	センサーに向かって直進している。 ※センサーの特性上、正面方向から近づいた場合は検知距離が極端に短くなります。	センサーの検知エリアに対して、検知対象（人など）が横切るような場所へ取付ける。またはセンサーの角度を変更する。
	周囲が明るい。 （夜でも周囲に他の照明器具がある）	点灯開始照度を「☼」側に調整する。
		他の照明器具の明かりが届かない場所へ取付場所を変更する。
	寒いときや雨降りの時で、人がマフラーや傘などで覆われている。	設置場所や検知エリア等を調整する。 ※センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知しにくくなることがあります。
	夏場など周囲の温度と人体の体温差がすくない。	
	非常にゆっくりとした速度で検知エリアに移動している。	
	検知エリアが遮られている。 ※ガラスや壁、塀越しには人の動きを検知できません。	検知範囲の調整、もしくは取付場所を変更する。また、センサー調整カバーをご使用の際は、ズレや外れがないか取付状況を確認する。
	本体が正しく設置されていない。 ・高い位置に設置している ・低い位置に設置している ・傾けて設置している	本品は約2.5mの高さに設置してください。
ライトが点灯したまま消えない（センサーが反応し続ける）	電源投入直後のウォームアップ時間中 ※回路を安定動作させるため、電源投入直後はライトが約60秒間点灯したままになります。	ウォームアップ時間が終了するまで、検知エリアの外に出て待機してください。
	何らかの物体がセンサーに反応し続けており、点灯時間が延長されライトが点灯したままになっている。	完全に検知エリアの外に出る。
		検知エリアを狭い範囲に調整する。
		取付場所を変更する。
	点灯時間が10分または常時点灯に設定されている。	点灯時間を「10秒」側に調整する。または点灯開始照度調整ツマミは「☾」に設定してください。
人がいないのに点灯する	検知エリア内、または周囲に下記のような誤動作をする要因がある。 （例）他の照明器具の明かり、風で揺れるもの（植木、洗濯物、旗など）、犬や猫などの動物、温風や冷風が吹き出すエアコン、ガス給湯器からの熱気、強い無線ノイズ	誤動作要因となっているものを検知エリア内から取り除く。
		検知エリアを狭い範囲に調整する。
	検知エリアが道路にかかっており、通行する自動車や人に反応している。	取付場所を変更する。
	風や車両の通行等により、センサーライトを取付けている柱などが振動している。	振動の影響を受けない場所に取付場所を変更する。
昼間なのにライトが点灯する	点灯開始照度の調整ツマミが「☼」になっている。	点灯開始照度の設定を「☾」に調整する。
ライトが点滅する（点いたり消えたりを繰り返す）	本機の発光方向に光を反射する障害物がある。 ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。（“A”（アラーム）モード設定以外の場合）	光を反射する障害物を取り除く。
ライトが点いてもすぐ消える	点灯保持時間が「5秒」に設定されている。	点灯保持時間を「10分」側に調整する。
	本機の発光方向に光を反射する障害物がある。 ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。（“A”（アラーム）モード設定以外の場合）	光を反射する障害物を取り除く。

主な仕様

電源	100V 50Hz / 60Hz
消費電力	約16W（待機電力：約1W）
全光束	約 880 lm
使用光源	高輝度LED（交換はできません）
センサー検知範囲	距離：前方9m、両側3m（高さ2.5m）
センサー検知方式	焦電型赤外線方式
点灯時間の調整	約10秒、1分、5分、10分
質量	本体：約650g（コードを含む）
コード長	約3m

●LED素子には光色、明るさにバラツキがあるため、同じ品名の商品でも光色、明るさが異なることがあります。



センサーライト用オプション 商品番号 07-5579

チャイム BB351

●センサーライトに接続すれば、センサー検知と同時にチャイム本体の赤いLEDが点滅し、音とLEDで来訪者や侵入者を知らせてくれます。

●使用状況により、チャイム音か音楽かを選択できます。

※左図のように差し込み口ふたを外し、オプションのチャイムを接続してください。詳しい接続方法はオプションチャイムの取扱説明書に従ってください。

メモ